

1

2024▶2025
令和7年
1月22日発行

寺領小学校 だより

Jiryo Elementary school
文真 校長

本年も、どうぞよろしくお願いたします

新しい一年がスタートしました。今年は巳年、脱皮を繰り返して成長する蛇のように、自分の殻を破りながら新しい自分をつくる、そんな毎日を過ごしてほしいと願っています。全校集会では、各学年の代表が、学習や生活のめあてを発表しました。努力を続けるのは大変なことです、自分が決めためあてです。できることからコツコツと積み重ね、全員が胸を張って「がんばった！」と言える3学期にしてほしいと思います。

保護者や地域の皆さまには、時には厳しく、時には温かく見守っていただきながら、引き続き子どもたちを支えていただきますよう、お願いたします。

分からなかったらよく人に聞いていたので、分からない問題はまず自分で考えます(4年)

言われなくても自分から進んで手伝いをします(2年)

困っている人を見つけたら話を聞いて、力になりたいです(3年)

時計を見て3分前行動をします(3年)

書取会と計算会でゆっくりやって満点をとりたいです(1年)



友達がつぶやいた言葉をヒントにして、自分の考えをこたえられるようにします(5年)

宿題じゃなくてもタブレットなどで自分から勉強したいです(6年)

いろいろな人に感謝をし、卒業プロジェクトを成功させたいです(6年)

6年生の行動を学び、行事の司会や他の学年をまとめる姿から学んで、いい6年生になりたいです(5年)



雲南市立寺領小学校

〒699-1322 島根県雲南市木次町寺領 612
TEL0854-42-0529 FAX0854-42-0572HP <https://shimane-school.net/unnan/jiryo-sho/>E-mail jiryo-sho@unnan.ed.jp

そば打ち・宅配

昨年末、日登の郷や民生児童委員の皆さまなどにお世話になり、恒例の年越しそばの配食・声かけの活動を行いました。今年度はそば打ちを



学校の教育活動に位置付け、終業式を終えたあと、交流センターで4・5・6年生みんなで取り組みました。

そば打ち名人さんにご指導いただき一生懸命作ったそばを、一人暮らしの高齢者さんや施設にお住まいの方にお届けしました。とても喜んでくださり、子どもたちにとって、とても充実した活動となりました。



パソコンのタイピングスキル

雲南市教育委員会の松島統括監に、6年生がどれぐらの速さでキーボード入力ができるかを調べていただきました。文部科学省は、中学生が1分間で60文字を打てることを目標としているようですが、寺領小6年生の平均は、82.2文字だったそうです。ICT機器をより効果的に活用するために、タイピングスキルの向上は欠かせないと言われていきます。お昼のパソコンタイムも活用しながら、子どもたちが将来困らないための力を、学校でも育てていけるよう努めたいと思います。



車いす・アイマスク体験

5年生は、社会福祉協議会とひまわり福祉会の方にお世話になり、福祉について学びました。5年生は、幼稚園さんとの交流や車いす体験などの活動を通して、様々な人たちと人間関係を形成するために必要な力を高めていこうとしています。



文部科学大臣表彰

木次地区学校運営協議会の取組が「令和6年度コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞することとなりました。木次中学校の生徒さんが行っている「地域へGoToボランティア」の活動をはじめとして、地域が一体となって子どもたちを育てていこうとする取組が評価されたものです。学校運営協議会で生徒さんとお話をさせていただいたとき、寺領小学校の「食と農」の活動で地域の皆さまにお世話になった経験が、ボランティアを行おうという思いにつながっていると聞きました。今回の表彰は、地域のすべての皆さまへのものだと感じています。おめでとうございます。

